

CONSTRUCTION TECHNOLOGY EXHIBITION

建設技術展示館

出展技術 ガイド





建設技術展示館はどなたでも
ご自由にご入館いただけます。(入館無料)
お気軽にお越し下さい。

ご利用案内

開館日 火曜日～木曜日(祝祭日および年末年始は除く)

※上記以外の見学希望にも対応

開館時間 午前10:00～午後4:00

交通のご案内



交通

- ①東京駅 → JR京葉線快速(武蔵野線直通) → 新八柱駅下車
- ②東京駅 → JR山手線/京浜東北線 → 上野駅 → JR常磐線 → 松戸駅 → 新京成線 → 八柱駅下車
バス「牧の原団地行」(乗車 約8分) 牧の原小学校前下車 → 徒歩 → 2分(バス運行間隔 約10分)
- ③新京成線 常盤平駅下車 → バス「牧の原団地行」 牧の原小学校前下車(所要時間 約10分)

お問合せ

建設技術展示館

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1 TEL.047-394-6471 FAX.047-394-6477

http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/kangi_index005.htm

建設技術展示館

検索

A6-4 インバイロワン工法

道路維持補修工—防食対策工

既存塗膜を溶剤により軟化させて回収する技術

塗膜を溶剤により軟化させて回収し、重防食塗装が可能な素地を得る技術

鋼橋塗替え塗装における重防食塗装への移行に適用する塗膜除去技術。シート状に軟化させるので、鉛・クロム・PCB等有害物質を含む塗膜を飛散させないため、飛散防止対策の簡略化が期待でき、既存塗膜の回収が安全・確実で、回収率が高い。本技術は独立行政法人土木研究所との共同開発によるもので、第2回ものづくり日本大賞（内閣総理大臣賞）、第8回国土技術開発賞最優秀賞（国土交通大臣賞）を受賞している。



NETIS登録No. KT-060135-V(設計比較対象技術)

評価・証明

新規
出展

インバイロワンシステム株式会社 本社 担当/竹内

TEL 03-5643-8661 <http://invalrowan.com/index.html>

A7-1 DK ボンド工法

共通工—法面工—地山補強

不安定岩を接着固定する技術

自然公園等の景観を維持し高所岩や巨岩等を固定する技術

本工法は人力作業が主体であり、対象岩の形状や位置に影響されず、簡易な仮設備で広汎に落石対策として適応できます。●特に、景勝地、自然公園など自然景観の維持を図る必要がある箇所や、岩の大きさや比高による落石の膨大な運動エネルギーが想定される箇所では有効な対策となります。●本工法における岩亀裂面の風化防止効果と併せて、接着強さ等の高い耐久性の維持によって、施工後はメンテナンスフリーとなります。



NETIS登録No. SK-980021-V

評価・証明

新規
出展

第二建設株式会社

総務部 担当/前田

TEL 086-222-9210 <http://www.dkbond.co.jp/>

A6-5 ネプラス工法

共通工—排水構造物工—道路—維持修繕

側溝の上部破損部の改修などができる技術

道路側溝の上部破損箇所の改修、嵩上げや切下げに採用できる技術

ネプラス工法は周囲を掘削することなく側溝上部を改修することが可能です。そのため構造物が接近した箇所や埋設物がある場所でも容易に施工できます。即日交通開放も可能なので道路横断側溝や店舗等の乗入部の側溝でも規制時間を最小限に抑えることができます。ネプラス工法ではこのように施工困難な場所で威力を発揮する工法で全国各地の側溝改修工事で採用されています。



施行前

施工後（路側タイプ500型）

NETIS登録No. HR-060021-V(平成24年度活用促進技術)

評価・証明

新規
出展

高橋土建株式会社

ネプラス事業部 担当/高橋

TEL 0254-21-5888 <http://www.t-doken.jp/>

A7-2 STマイクロパイル タイプI

基礎工—杭基礎

既設構造物基礎など補強する技術

橋梁などの既設構造物基礎などを小口径杭打設により補強する技術

橋梁等の桁下空間の制約や近接構造物の影響を受けることなく、高張力鋼管を用いた機械式ねじ継手の小口径杭（径100mm～300mm）を打設することにより、構造物の支持力対策・既設構造物基礎の補強、斜面の安定対策・地すべり抑止対策などを効率的に行う技術です。セメントグラウト材を加圧注入し、節突起を設け付着性能を向上させた高張力鋼管と合成させる小口径場所打ち杭です。



NETIS登録No. HR-030012-V

評価・証明

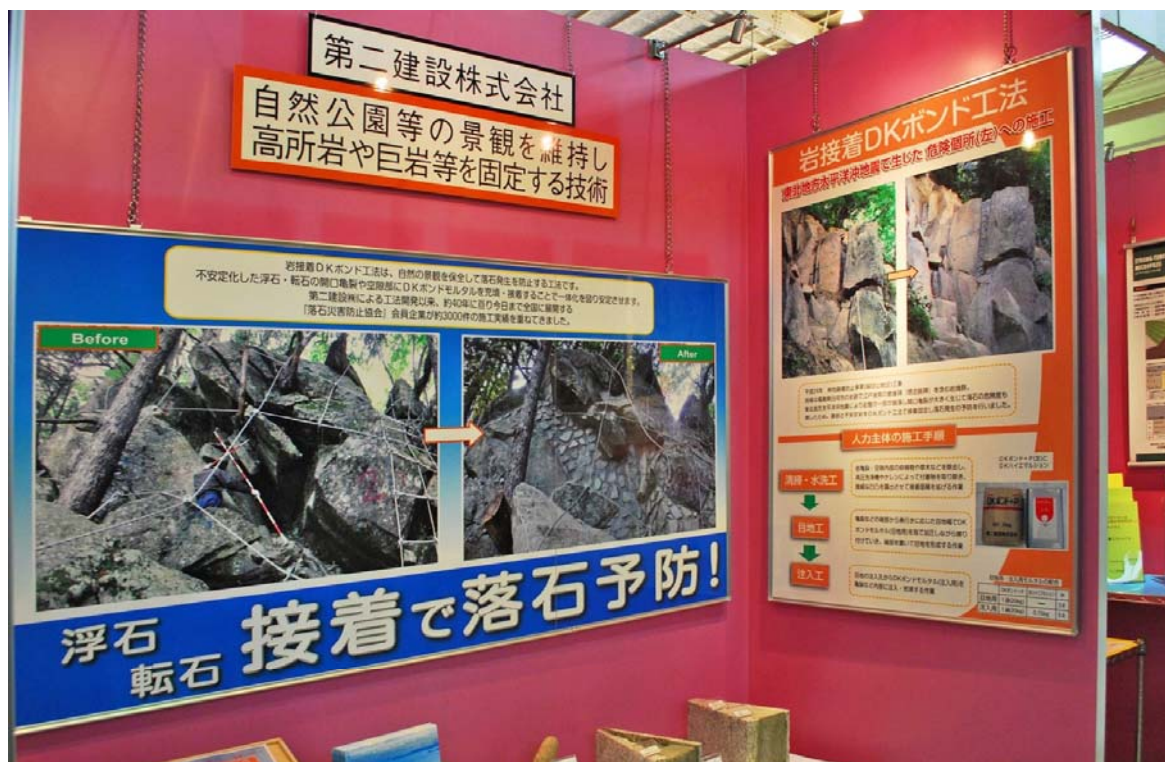
新規
出展

NIJ研究会

NIJ研究会東日本支部事務局 担当/井上

TEL 03-6402-8257 <http://www.nij-gr.com/>







岩接着DKボンド工法技術展示

建設技術展示館（千葉県松戸市）

